

おあしす

とびだせ！ 桂城っ子

桂城っ子は、勉強でも盛んに地域に出かけて学習しています。

六年生は、地域の歴史探訪。大館市の城下町としての成り立ちや、たくさん残っている文化財に触れることで、子供たちは故郷を誇りに感じるようになりました。

五年生は、地域の伝統工芸や産業。実際に田や畑に出かけ、農作業を体験し、収穫の喜びや農業の大切さを感じ取っています。また、大館には「曲げわっぱ」など、他に誇れる伝統工芸があることを学習し、これからは大切にしていこうという気持ちで育っています。



問題意識をもち、意欲的に追究する 子供をめざして

桂城っ子は、学習や行事などの様々な活動を通して「おもしろい」ということを大事にして、地域の人たちと接しています。

桂城小学校

四年生は、水やごみなどの身近な問題。先日は、ごみ処理場を見学し、ごみが大変な問題であることを感じています。また、社会科による地域での学習がほかの分野にも発展し、図工でもごみをテーマにしたポスターの作成に取り組んでいます。

三年生は、地域の商店街やスパーに出かけ、お店やさんの工夫を学習しています。



たくましく、ゆたかに 成長する子供たち

桂城っ子はスポーツにも文化活動にも頑張っています。昨年度は、野球部が全県大会に出場し、スクールバンドとカントリーガイズは東北大会に出場しています。



ふるさとを大切に 子供たち

私たち桂城っ子にとって、長木川に飛来する白鳥は、なくてはならない存在です。

数年前の冬、毎日学校の帰りに、ソリを引いて給食室に寄る一人の児童がいました。給食の残りのパンをもらって帰るので、その児童は、白鳥の世話をしているおじさんが、餌を集めるのにとでも困っていることを知り、自分も何かできないだろうかと考えたのでしょうか。この一人の児童の行いが、桂城小学校全体に広がったのです。

児童会では「白鳥の絵葉書」を作り、校内で販売して白鳥の餌代集めに協力しています。また、児童会の中のボランティア委員会では、校内で空き缶集めをして、やはり白鳥の餌代集めをしています。



桂城小学校には、町内子供会活動として、いろいろな学年の子どもたちが交流して活動する「兄弟活動」があります。その活動の一つとして、白鳥広場や長木川の河川敷の清掃活動を行っています。餌代集めだけでなく、白鳥のやって来る私たちの故郷を、もっと大切に、そしてきれいにしようという心がかたちになった活動です。

ほかにも児童会の様々な行事に白鳥が登場します。例えば「六年生を送る会」ですが、六年生の卒業を「白鳥の旅立ち」にたとえて「白鳥の旅立ち集会」として行っています。

大館市立桂城小学校
 〒017-10887
 大館市水門町1-12
 ☎42-2262
 校長・工藤康平
 児童数・375人
 創立・明治7年

次回(7月16日号)は第一中学校が登場します。

「おあしす」は、内容、デザインなど、すべて学校側で作成し、学校の紹介、自慢などをしてもらおうコーナーです。今後、市内の小・中学校が順次登場します。